

令和6年度
臨時号②

アンケートへのご協力、ありがとうございました

令和7年2月

A=できている

B=どちらかといえばできている

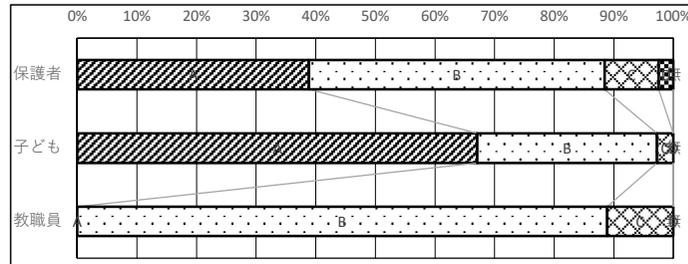
C=どちらかといえばできていない

D=できていない

無=無答

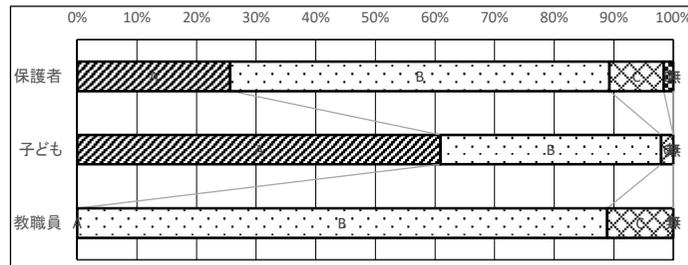
三寒四温の言葉通り、寒さと温かさが入り混じる毎日です。子どもたちの学校生活を生き生きと楽しいものにするため、また今後の学校改善に役立てるために、2月にアンケートを実施し、保護者の皆様からご意見をいただきました。いただいたご意見を謙虚に受け止め、学校運営に活かしてまいります。アンケート結果につきましては、内容の似た項目について保護者・子ども・教職員三者がどのように違うのか、あるいは似通っているのかを紹介させていただきます。

- ①
子どもは学習内容がわかり力をつけている。 (保護者)
毎日の授業はよく分かる。 (児童)
教材研究・教材作成に努め、一人一人に分かる授業を工夫している。 (教職員)



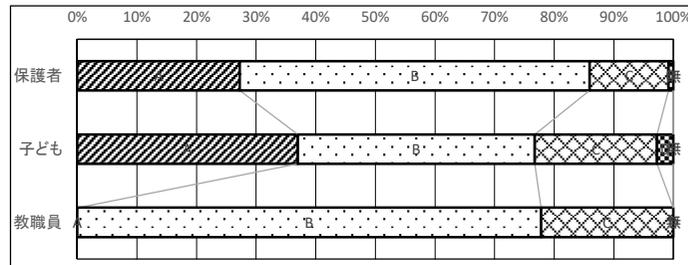
前期と比べると、保護者と教職員の評価が上がっています。落ち着いた学習環境の中で、教材研究をしっかりとした授業を積み重ねていくことで、児童の学力は向上していきます。保護者も、教職員も子どもの様子からそのことを実感していることが見て取れます。それは、数値としても表れており、例えば今年4月に実施された全国学力・学習状況調査やジョイントプログラム、プレジョイントプログラムの結果も好調でした。来年度はその力をさらに伸ばすべく、ICT機器の効果的な活用を含め、全学年で取組を進めていきます。

- ②
子どもは人の話をしっかりと聞いている。 (保護者)
授業中、人の話をしっかり聞いている。 (児童)
子どもたちはしっかり話を聞き、意欲的に学習に取り組んでいる。 (教職員)



前期と比べると、児童と保護者の評価が上がっています。子どもたちは、どの学年も落ち着いて学習している様子が見え、安心して話せる雰囲気が学級にあるので、話す方も聞く方も余裕をもって、友達とコミュニケーションをとっています。将来、社会人になった時も、まずは相手の話をしっかりと聞くということは欠かせません。このことは相手を尊重する人権意識にもつながります。ご家庭でも子どもさんの話をじっくりと聞く機会をたくさん設けていただきたいと思います。大人の姿勢が子どもに良い影響を与えます。

- ③
子どもは思った事や考えた事を発表している。人に話している。 (保護者)
自分の思った事や考えた事を発表している。 (児童)
子どもたちは相手に伝わるように、自分の考えや思いを発表できている。 (教職員)

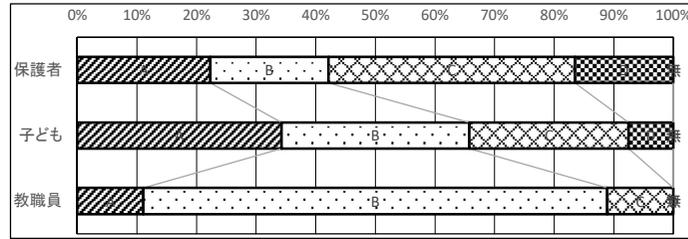


前期と比べると三者とも評価が上がっています。この項目は、本校の児童にとってやや弱い能力だと感じています。ただ、これから先求められる能力の一つなので、確実に身につけておきたいです。大前提として、まず自分の思いを持てるか。根拠のある考えを持てるか。前者には心情面を育てていく必要があります。後者には論理的な思考力が必要です。そして最後に効果的に聞き手に伝える能力が必要です。学校では、発達段階に応じてこの3つの力を育むため取組んでいます。

④ 子どもは家で本を読む習慣がある。 (保護者)

家でも読書している。 (児童)

朝読書や本かばんの活用、毎月のノーテレビ・ノーゲーム・読書デーの取り組みで子どもたちは進んで本を読むようになっている。 (教職員)

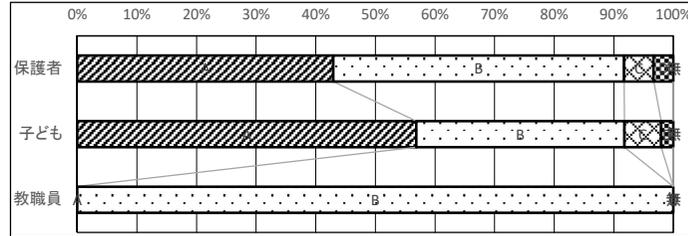


前期と比べて、保護者と教職員の評価が上がり、児童の評価が下がっています。読書は思考力、想像力、発想力を培う上で、とても大切な営みです。また、自学自習の観点からも、活字を読むことの抵抗をなくし、ある程度の時間、本を読み続けられる習慣はつけておきたいものです。学校でも、家読や定期的な図書館利用、お話玉手箱などの取組を進めています。ご家庭でも、子どもたちと一緒に読書の時間を少しでも作っていただけたらと思います。

⑤ 子どもは宿題や復習など家庭学習をしている。 (保護者)

家や宿題やおうちで決めた学習をしっかりとしている。 (児童)

家で宿題や復習などができている。 (教職員)

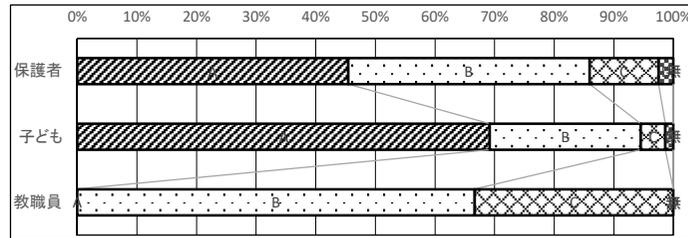


前期と比べると保護者の評価が上がり、児童の評価が下がっています。教職員の評価では、Aが非常に少ない特徴があります。宿題はしているが、自主勉強などを積極的に取り組む児童が少ない傾向にあることが原因の一つです。半面、習い事に忙しく、塾の課題を頑張っている児童も少なくありません。家庭学習は学力の定着を図る上でとても大きな役割を果たしています。引き続きご家庭でのご協力をお願いいたします。

⑥ 子どもは次の日の学習の準備ができている。 (保護者)

次の日の準備をきちんとできている。 (児童)

子どもたちは忘れものをせず、学習の用意ができている。 (教職員)

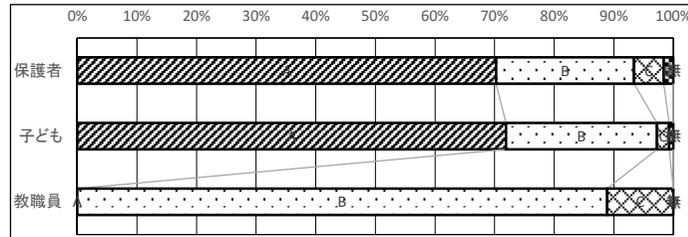


前期と比べると、保護者の評価が下がっています。また、児童の評価と教職員の評価に隔たりが強くみられます。多くのご家庭で、学習の準備をしっかりといただいておりますが、忘れ物があると、学習に支障をきたします。また、自学自習のことを考えても自分で予定表を見て、学習の準備を前日にする習慣を身に付けさせていきたいです。

⑦ 子どもは毎日楽しく登校している。 (保護者)

毎日の学校生活が楽しい (児童)

子どもたちは、学校や学級を楽しんでいる。 (教職員)

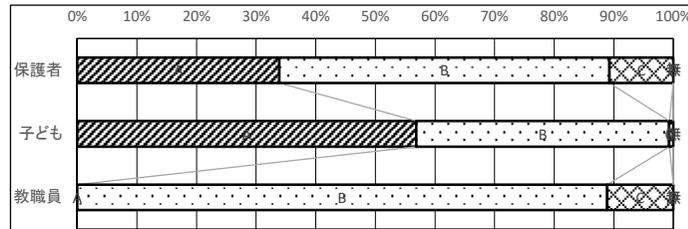


前期と比べると、保護者の評価が下がっていますが、児童の評価は高い数値を示しています。学校は安心・安全な場所で、子どもたちが大好きなところであるべきです。そういう意味では、CやDの評価をつけた児童を限りなく減らしていく取組を、今後も続けていきます。教職員については、日によって登校しにくい子どもがいることが低めの数値に表れていると思います。そんな子どもの気持ちを受け止め、困りを解決していく取組を進めていきます。

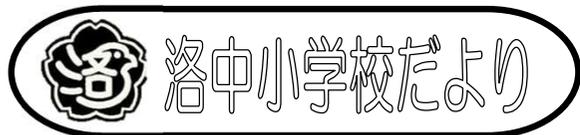
⑧ 子どもは約束や決まり事を守っている。 (保護者)

学校や学級のきまりや約束を守っている。 (児童)

子どもたちは約束や決まり事を守っている。 (教職員)



前期と比べると、保護者の評価が上がり、教職員の評価が下がっています。学校では、おおむね子どもたちはルールを守って生活しています。少し気になるのが、安全面を考えず廊下を走ったり、他学年の学習の妨げになることを意識せず、大声で廊下を通ったりしている様子が見られることです。学級指導を定期的に行っていますが、なかなか良くならないことが来年度に向けた課題です。約束や決まり事を守ることは、落ち着いた学校生活を送る上で、欠かせません。また、将来、社会の規範を遵守する態度につながります。



令和6年度 臨時号②

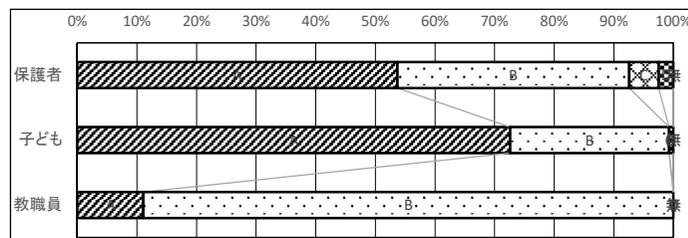


アンケートには、保護者の方々からコメントもいただいております。ありがとうございました。ご意見をお聞かせいただけると、私たちが日常の指導・支援・取組について反省・改善していく契機となります。今後とも、忌憚のないご意見をお聞かせいただけたらと思います。それぞれの内容については、学校の教職員全体に周知して、今後の学校・学級活動の改善に生かしていきます。個別にお応えできる内容については、個別にご連絡いたします。そのためにも、記名でのアンケートに今後もご協力下さい。よろしくお願いいたします。

⑨ 子どもは友達に優しくできている。 (保護者)

やさしい気持ちをもって友達を大切にしている。 (児童)

いじめや仲間はずれのない学級づくりを重点にした取り組みができている。 (教職員)

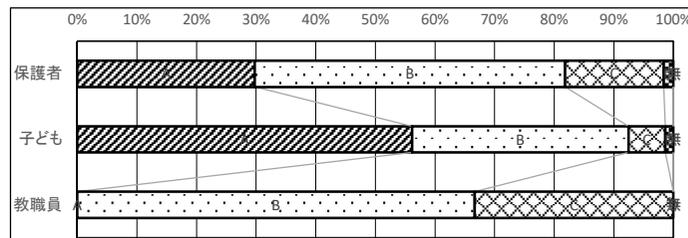


前期と比べると、保護者の評価が下がり、教職員の評価が上がっています。本校の子どもたちは、心の優しい子が多く、思いやりがあります。それは、児童と教職員の評価で、CDIにほとんどついていないところからもうかがえます。コロナ禍に比べて、児童同士が積極的に関わることも増えるに伴い、多少のトラブルは起こることがあります。しかし、トラブルをよい経験に変え、成長していくことも必要です。今後も友だちの良いところを見つけていくように支援していくとともに、いじめや仲間外れのないクラス作りを継続していきます。

⑩ 子どもは自分からあいさつができている。 (保護者)

友達、先生、ちいきの方に自分からあいさつできている。 (児童)

子どもたちは、元気にあいさつができるようになっている。 (教職員)

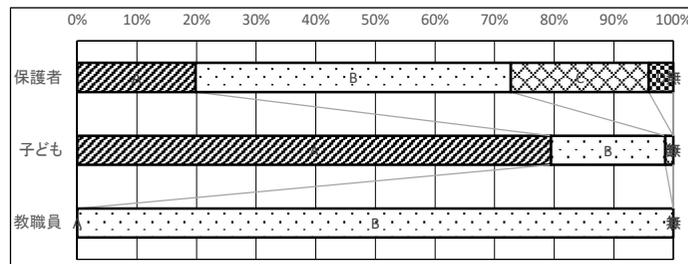


前期と比べると、保護者の評価が上がり、教職員の評価が下がっています。登校指導をしていると、こちらから一人一人に挨拶をしていると、だんだんと挨拶を返してくれるようになり、子どもたちの方からしてくれる姿も増えてきました。まずは大人が手本とならなければならないと、実感しました。挨拶はコミュニケーションの第一歩です。ご家庭でも、意識してあいさつの習慣をつけていただけるとありがたいです。

⑪ 子どもはお手伝いや自分の仕事をきちんとできている。 (保護者)

そうじ、日直などの当番活動や係活動がきちんとできている。 (児童)

子どもたちは当番活動や当番活動や係活動をきちんとしている。(特にそうじ) (教職員)

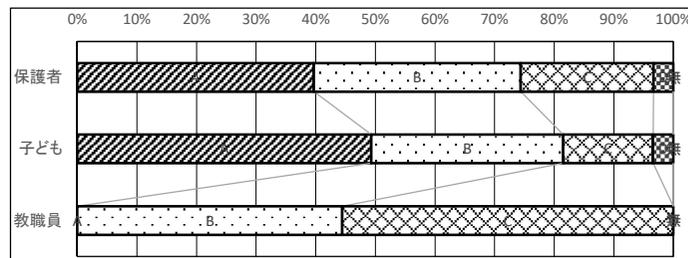


前期と比べると、保護者の評価が下がっています。保護者の評価をみると、約4分の1の家庭で、あまりお手伝いや自分の仕事をきちんとできていない現状があるようです。家のお手伝いは、家族の一員としての意識を高めるとともに、人のために行動することの心地良さを育てます。タイミングの良い声かけや誉め言葉で、ぜひ子どもたちの意欲を高めていけるようお願いいたします。

⑫ 子どもは放課後や休みの日に外で進んで体を動かしている。 (保護者)

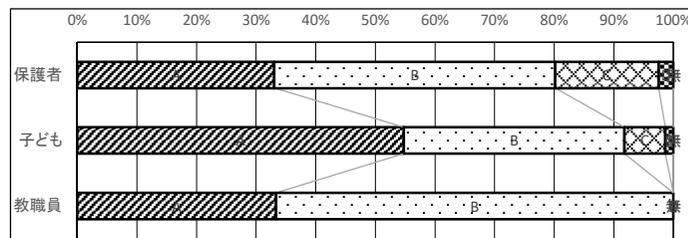
進んで外で体を動かしている。 (児童)

体力向上の取り組みを進めている。 (教職員)



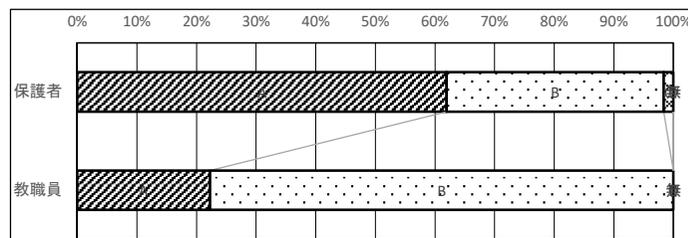
前期と比べると、児童と保護者の評価が上がり、教職員の評価が下がっています。教職員の評価が低いのは、寒い中で運動場に遊びに行っている児童が少なく感じることで、やはり体育館工事の関係で、雨天時の体育の授業が制限されることがあります。来年度は、新しい体育館も完成し、従来通り体育の学習も再開できます。今後も、子どもたちが意欲的に運動できるよう取組を進めていきます。

⑬
 子どもは好き嫌いなく食事を楽しんでいる。
 (保護者)
 好き嫌いなく楽しく食事をしている。
 (児童)
 給食についての指導が計画的にされている。
 (教職員)



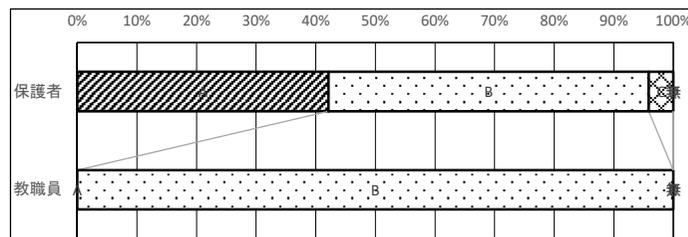
前期と比べると、保護者の評価が下がり、教職員の評価が上がっています。毎日の給食を生きた教材となるように取り組んでいます。日めくりカレンダーをテレビ画面に映し、食べ物の栄養や働き、語源、食事のマナーなどについて指導をしています。また、毎月、和食を推進する「和献立」を実施し、和食の良さを動画で伝えています。これからも、食について興味関心を深め、より良い食べ方を目指すことを児童自身ができるように取り組んでいきます。

⑭
 教職員は保護者の話によく耳を傾けてくれる。
 (保護者)
 子ども・保護者の思いや願いを受け止め、
 気軽に相談ができるようにしている。
 (教職員)



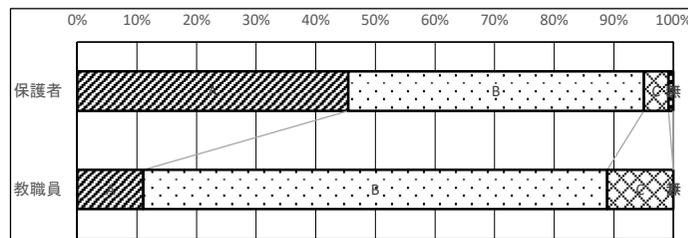
前期と比べると、保護者の評価が上がっています。職員室では、放課後、担任が欠席した児童に対して、電話で保護者に様子を尋ねている姿をよく見かけます。また、すぐるでのやり取りも定着してきました。学校と家庭の連携は、子どもたちや保護者が安心して学校生活を営む上でとても大切です。今後も、子どもたちの良いところを伸ばし、気になることを共有するためにも、気にかかることがございましたら、ぜひご相談くださいようお願いいたします。

⑮
 学校はあたたかい思いやりのある心を育てる活動に取り組んでいる。
 (保護者)
 子どもたちに思いやりのあるやさしい心が育ち、
 実践力が身に付いてきている。
 (教職員)



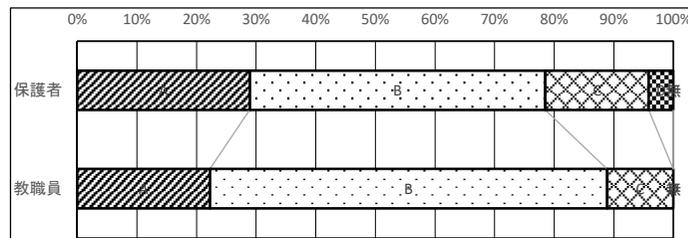
前期と比べると、保護者の評価が上がっています。学校全体が落ち着いた雰囲気にあるので、子どもたちの本来の心のやさしさが、表に出やすい状態になっていると思います。ただ、「実践力」の面で課題が見られました。今後も、子ども一人一人の様子をよく観察し、タイミングの良い声かけ等を行い、実践力を伴う思いやりのある優しい心を育てていきます。

⑯
 学校の取組が学校だより、学級だより、ホームページなどでよく分かる。
 (保護者)
 学校情報の発信ができています。(学校・学級・保健・
 給食だより・ホームページ等)
 (教職員)



前期と比べると、保護者の評価が下がっています。学校評価の記述の項目でご指摘があったのですが、学年によって、ホームページのアップ数に差があり、少ない学年の保護者が物足りなく感じられるのは、当然のことです。学校全体の課題と受け止め、行事や日常の授業の様子など、今後もより一層伝えていきたいと考えています。

⑰
 学校行事や地域・PTA行事に参加するようにしている。
 (保護者)
 様々な取り組みや行事を通して、学校・家庭・地域が
 連携し、子供の教育にあたっている。
 (教職員)



前期と比べると、保護者と教職員の評価が下がっています。本校は、地域の諸団体の方が、子どもたちのためにいろいろな行事を企画していただいています。また、登下校の見守りをはじめ、たくさんお世話になっています。制約の多い中、「地域の子どもは地域で育てる」ということを大切に、学校とPTA・地域が一体となって、子どもたちの健全育成に努めていきたいと考えています。